

シラバス (授業計画)

授業科目名	入学年度	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論 I	共通	1・2 学年前期	選択	2 単位	丹羽 崇之
準備学習の内容 (履修の前提条件) 簿記・会計の知識が不可欠である。 租税法の基本を理解しておくこと。					
授業の到達目標及びテーマ 租税法総論について学ぶ。報告、討論及びレポート作成等により、租税法の知識、考え方を身に付ける。					
授業の概要 授業の該当テーマについて、金子宏『租税法 [第 22 版]』を精読し、法令・判例等の理解を深める。 各テーマについてかなり速いスピードで授業が進められる。授業 1 回当たりのボリュームも多いため、相当の準備が不可欠である。					
授業計画 第 1 回 租税の意義 第 2 回 租税法の意義と特質 第 3 回 わが国における租税制度の発達 第 4 回 租税法の基本原則(1) 租税法律主義 第 5 回 租税法の基本原則(2) 租税公平主義、自主財政主義 第 6 回 租税法の法源と効力 第 7 回 租税法の解釈と適用(1) 租税法の解釈 第 8 回 租税法の解釈と適用(2) 租税法の適用、租税実体法序説 第 9 回 課税要件総論(1) 納税義務者 第 10 回 課税要件総論(2) 課税物件、課税標準、税率 第 11 回 納税義務の成立・承継及び消滅 第 12 回 附帯税、納税者の債権 第 13 回 租税手続法序説、租税確定手続(1) 確定の方式 第 14 回 租税確定手続(2) 申告納税方式、更正の請求、更正・決定 第 15 回 租税確定手続(3) 推計課税、賦課課税方式、確定権の除斥期間、質問検査権 第 16 回 定期試験等					
テキスト 金子宏『租税法 [第 22 版]』(弘文堂) 『実務税法六法』(新日本法規出版) または『税務六法』(ぎょうせい) 川田剛『租税法入門』(大蔵財務協会) 税務大学校講本『税法入門』『国税通則法 (基礎編)』					
参考書・参考文献・参考資料等 伊藤義一『税法の読み方 判例の見方 [改訂第 3 版]』(TKC 出版) 中里実他編『租税判例百選 [第 6 版]』別冊ジュリスト (有斐閣) 山下信友・宇賀克也編『ポケット六法』(有斐閣)					
成績評価の方法・基準 授業への取り組み状況 (事前・事後の学習状況等)、授業での発言状況、提出物等の結果を総合勘案して評価する。					